

東京社保協ニュース

東京社会保険推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協

検索

今こそ子育て支援の拡充を！

今こそ子育て支援の拡充を！

都民のみなさん、公的医療保険の中で、区市町村が運営する国民健康保険だけが生まれたばかりの子どもから保険料を取っていることをご存じですか？
政府はしきりと「子育て支援」を訴えています。本当に子育て支援を強めるのであれば子どもの保険料や病院などでの窓口負担の軽減を入れるべきです。若い子育て世代の負担を軽減し、安心して子育てができる環境を整備するために、都民のみなさんのご協力をお願いします。

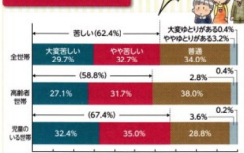
子どもの権利条約

第24条 締約国は、到達可能な最高水準の健康を享受すること並びに疾病の治療及び健康の回復のための便宜を与えられることについての児童の権利を認める。締約国は、いかなる児童もこのような保健サービスを利用する権利が奪われないことを確保するために努力する。
第26条 1 締約国は、すべての児童が社会保険その他の社会保障からの給付を受ける権利を認めるものとし、自国の国内法に倣い、この権利の完全な実現を達成するための必要な措置をとる。

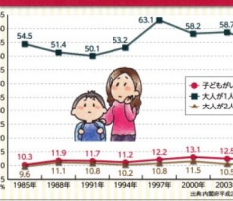
国保だけが子どもからも保険料を取っている

医療保険の種類	子どもが1人	子どもが2人	子どもが3人
協会けんぽ	0円	0円	0円
被用者保険	0円	0円	0円
共済組合	0円	0円	0円
国民健康保険	23区 44,700円 市町村平均 27,737円	89,400円 55,474円	134,100円 83,211円

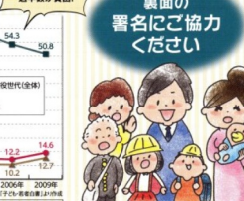
各種世帯の生活意識



子どものいる現代世帯の相対的貧困率の推移



裏面の署名にご協力ください



小池新知事体制になって初めての第3回定例都議会が、9月28日から始まります。東京社保協は、「子育て支援のため、子ども医療費無料化拡充と子どもの保険料軽減を求める」都議会に向けた陳情を、東京地評・東京土建・東京保険医協会など9団体で取り組んだ陳情署名（8月24日現在、38,582筆集約）を添えて東京都議会に提出しています。

都議会厚生委員会

日時 9月26日(月)13時~

集合 議会棟2階12時

厚生委員会を傍聴しよう

8月23日には民進党都議団の宮瀬英治都議に要請を行い、陳情に賛成するとの回答を得ました。引き続き、9月1日には公明党、9月7日には共産党都議団や都議会民進党、かかやけ東京などに要請を行う予定にしています。

第3回定例都議会で陳情が審議に

第30回日本高齢者大会in東京



第30回日本高齢者大会が、8月28日（正大大学・分科会）から29日（国際フォーラム・全体会）にかけて開催され、全国から9000人を大きく超える参加で大成功をおさめました。

第1日目の学習講座・分科会等には4028人が参加し、学習と交流が行われました。2日目の全体会は、5000人を超える会場いっぱいの参加者であふれました。

基調報告では、社会福祉協議会や老人クラブとの連携など、高齢期運動も新しい共闘や共同ができる時代に入ったことを実感できる大会になったことを強調し、この共同をさらに地域で広げていくことを提起しました。

野党統一候補として都知事選で奮闘した、鳥越俊太郎さんが記念講演を行い、「高齢者の尊厳とくらしを守り、社会保障の充実を求める」決議を全体で確認しました。

最後に、次回大会は「沖縄・辺野古、高江でのたたかいを全国に広げよう」と沖縄で開催されることを確認して閉会しました。

各地域・団体の取り組み

小平社保協

小平社保協は7月28日、第17回総会を開きました。

都知事選の投票日を間近にひかえ、同時刻に鳥越候補の個人演説会が開かれたこともあり、総会は役員団体からの参加となりました。

総会は、東京社保協の寺川事務局長の来賓あいさつに続き、記念講演は「日常診療から見えてくる医療現場の実態と今後、求められる地域医療を考える」をテーマに、みその診療所の樋口事務長が行いました。

総会は、東京社保協の総会方針の実践を基本に、以下の4つの課題を議論し決定しました。①小平社保協は市民が「貧困と孤立」に陥らない地域社会を作っていくことに全力をあげます。②小平社保協は、国の国保税軽減の財政支援を活用して国保税引き下げ、子どもの均等割額の軽減措置の実現をめざします。③介護保険の連続改善に抗し、小平社保協が地域から立ち向かうために④年金引き下げを許さ

ず、最低保障年金制度の確立に全力をあげます。

総会は、新役員を選出し東京社保協に団結し、小平地域からの社保協運動の盛り上げを確認しました。

早速、総会方針の実践として、8月25日に小平市と介護保険に関する懇談会を予定しています。

(末廣 進 事務局長)

世田谷社保協

世田谷社保協は7月22日、世田谷区に対して、特養ホームの待機者解消や「新総合事業」の適正運営と充実、保健・医療の拡充、国保の子ども保険料(均等割)の無料化など「世田谷区の福祉・介護・保健・医療の拡充を求める」要求書を提出し、8月25日までに回答するよう求めました。

あわせて、7月29日に区に対して「世田谷区介護予防・日常生活支援総合事業Q&A」への要求書を提出しました。

これは、これまでの世田谷社保協の介護改善要望に対する世田谷区の回答や、区議会での質疑、他自治体の取り組み

みや厚労省のガイドラインを踏まえ、区が作成した「総合事業Q&A」に、世田谷社保協として、現行相当サービス維持のための11項目に及ぶ要求を提出したものです。

世田谷区の新総合事業は、2016年4月から開始され、訪問型事業所数は277ヶ所で、その内緩和されたサービスAを実施するために「みなし指定」された事業所が262ヶ所ですが、実際にサービスAを行っている事業所は134ヶ所(48%)にとどまっています。また、通所型では総事業所数が255ヶ所、その内「みなし指定」が231ヶ所、サービスA実施事業所は28ヶ所(11%)にとどまっています。④サービスAは1回の単価が現行の83%相当で、身体介護や入浴などのサービスが提供できない。

また、ボランティアによるサービスBは、シルバー人材と社会福祉協議会に委託し、登録者211名でスタートしましたが、生活支援サービス実施件数は、4月32件、5月39件にとどまっています。

(森永 伊紀 事務局次長)

介護保険制度の「改正」

介護保険制度の「改正」により、要支援者を対象とした、訪問介護と通所介護サービスが自治体の地域支援事業に順次移行することになりました。東京では23区中21区、多摩では12市で新総合事業が開始されています。

すでに地域支援事業を実施している自治体の実施状況と問題点、これから開始する自治体の準備状況などについての報告と交流を行う、「介護フォーラム」を10月1日13時からラパスホールで開催します。

多くの皆さんの参加をお願いします。ご一緒に対策を考えましょう。

介護フォーラム

日時 10月1日(土)13時～

会場 東京労働会館7階 ラパスホール

総合事業が始まっている自治体からの報告
総合事業開始に向けた自治体の状況報告
介護現場の実態や現状などのフオー発言など

都知事選 鳥越氏健闘及ばず

舛添前知事が、公私混同と政治資金不正使用問題で辞職したことに伴う東京都知事選挙は、7月31日に投票が行われ、野党統一と市民による候補としてたたかったでジャーナリストの鳥越俊太郎さんは134万票余を獲得するなど健闘しましたが当選には至りませんでした。

当選は、前自民党衆議院議員の小池百合子氏で安倍与党が推薦した増田寛也氏は落選しました。

鳥越氏は、参議院選挙から始まった野党共闘の流れの中で、33年ぶりに野党統一候補となり、「都民の声を聞く」姿勢を貫いて、これまでの大型開発優先の都政を変えるために奮闘しました。

東京社保協は、常任幹事会として鳥越俊太郎氏の推薦を「革新都政の実現をめざす労働者連絡会」を通じて「革新都政をつくる会」に決定を通知しました。あわせて、加盟団体・地域社保協にも「東京社保協としての東京都知事選挙への対応」の



文書を送付し、可能な団体・地域での推薦を呼びかけました。

当選した小池知事は8月2日、大日本帝国憲法の復活を求める請願の紹介議員となり、「従軍慰安婦の強制連

行はなかった」等と主張する元都議会議員の野田数氏を特別秘書に任命するなど、早くもタカ派の片鱗を見せており、警戒が必要です。東京社保協は引き続き、貧困と格差拡大から都民の暮らしと福祉を守る都政の実現をめざし、憲法を守り、社会保障の充実をめざす運動を進めていきます。

当面の秋の行動スケジュール

- 10月1日(土) 介護フォーラム ラパスホール13:00~
- 10月6日(日) 介護全国集会(BIZ新宿)
- 10月11日(火) 介護 認知症なんでも電話相談
- 10月16日(日) 第45回東京社保学校 けんせつプラザ東京 10:00~
- 10月20日(木) 憲法・いのち・社会保障ももる10.20国民集会
日比谷野外音楽堂 13:00~

第44回中央社保学校

日時 10月6日(木)~8日(土)

会場 高知県民文化ホールなど

講師 二宮厚美氏(神戸大学名誉教授)
渡辺 治氏(一橋大学名誉教授)
社会保障入門講座・フィールドワーク等

参加費 1日2000円

主催：中央社保協



「社会保障」誌の購読を

「資料と解説」が豊富で、激動する情勢や社会保障制度がよくわかる!役に立つ!学習や運動にぜひご購読を

- 定期購読(年6回)
3000円(送料別)
1部500円(送料別)
- 申込みは中央社保協へ
TEL 03-5808-5344
FAX 03-5808-5345
*ホームページからも注文できます



第45回 東京社保学校 開催のご案内

秋からのたたかいに向けて知を力に

誘い合って
参加しましょう



日時

2016年10月16日（日）

午前10時開会～午後4時半（9時半開場）

会場

けんせつプラザ東京

（東京土建本部会館・裏面地図参照）

講演

①参議院選挙・東京都知事選挙の結果と今後の運動 10時～

渡辺 治氏・一橋大学名誉教授

②医療現場から見える地域医療の現状 13時半～

竹崎 三立氏・医師（東京社保協会長）

取組報告

①なんでも相談会の取り組み 14時半～

②都営住宅相談会の取り組み

③無料低額診療の取り組み

※資料代・500円（当日ご持参ください） ※昼食は各自をお願いします



第45回東京社保学校 参加申込書 2016年 月 日

締め切りは10月12日です。この申込書をFAXして下さい

団体名（ ） 担当者（ ）

参加者氏名	参加者氏名

※必要事項を記入してFAXで申し込んでください。

お問合せは、東京社保協事務局まで（Tel 03-5395-3165）

FAX 03-3946-6823